

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	2	2	選択
担当教員			
園田 浩司			
木1			
添付ファイル			

科目の概要	<p>世界には国際社会が協力して解決しなければならない課題が山積しています。飢えや貧困、紛争、教育、医療の問題から、環境・気候変動、自然災害、食料問題、さらにエネルギー問題など、さまざまです。これらの人類共通の課題に対して、政府や国際機関、あるいは地域、コミュニティなど、多様なアクターが国境をこえて取り組むのが、「国際協力」です。この授業では、いろいろな国・地域で実践されている国際協力の現場を見ていくことを通して、国際協力論の基礎を学びます。授業は主に、以下の3つの観点から構成されています。</p> <p>(1)人類社会がどのように展開されてきたかを学びます。人類の多様な社会・文化を知ることを通して、国際協力の前提となる、異文化理解に必要な知性を養います。(2)国際協力の基本的なしくみを学んだうえで、世界各地の国際協力の現場を見ていきます。国際協力の取り組みでは何が重要かを理解するために、講師が長く関わってきたアフリカに注目し、地域が抱える課題やその解決策、実際の人々の暮らし、援助する側とされる側との認識のズレなどの現状を伝える予定です。(3)これまで学んできた国際協力の知識に基づいて、多国籍化する日本の地域社会に暮らすわたしたちに、どのような国際協力ができるのか、具体的な事例を見ながら考えていきます。</p> <p>「協力」では本来、「援助する側」が一方的、かつ非対称的に、「援助される側」を支援するのではなく、両者が「相互の対等性」を保つことがのぞましいとされます。世界の動きと、わたしたちの身近な国際協力を理解し、ますますグローバル化する社会に生きるわたしたちが、世界とどのように関わらなければならないのか、考える力を身に付けましょう。</p>
授業の内容	<p>第1回 国際協力とは何か 受講者同士、また講師の自己紹介をおこないます。さらに、授業の進め方、成績評価の方法などについて説明しますので、シラバスを事前に読んでおいてください。</p> <p>第2回 狩猟採集社会の平等主義 狩猟採集社会はなぜ平等主義社会と呼ばれるのかを見ていきます。</p> <p>第3回 自然を飼いならす農耕・牧畜社会 農耕・牧畜社会が自然をどう改変したかを学びます。</p> <p>第4回 2つの民族 映画「ホテル・ルワンダ」から ディスカッションを通して、民族とは何かを問い直します。</p> <p>第5回 家族のつながり 現地社会の理解に欠かせない、多様な家族の在り方について考えます。</p> <p>第6回 これまでのまとめ これまでの学びをまとめます。</p> <p>第7回 子どもたちをどうやって支えていくか？ アフリカの子ども達の生活を紹介し、支援には何が必要かを考えます。</p> <p>第8回 教えない教育 伝統社会ではなぜ教えないのか、自然環境の中での学びについて考えます。</p> <p>第9回 狩猟採集は学校になじまない？ 持続可能な社会の実現に向けた、先住民のための教育に関する取り組みを学びます。</p> <p>第10回 動物との共存とは？ ローカルな人々の動物認識・自然認識から、自然保護問題を問い直します。</p> <p>第11回 森にトイレは必要？ 環境衛生問題を文化的視点から問い直します。</p> <p>第12回 観光の「ものがたり」 途上国の経済発展の手段となる観光に注目し、観光が文化をどう変えてしまうかを考えます。</p> <p>第13回 演劇手法を用いた文化理解ワークショップ 講師が現在取り組んでいるワークショップについて紹介し、次講義のワークについて説明します。</p> <p>第14回 文化理解ワークショップ発表会 グループで企画したワークショップを発表します。</p> <p>第15回 学びのまとめ これまで学んできたことをふりかえります。</p> <p>定期試験</p>
学習到達目標	<p>①世界各地や日本国内で実践されている、国際協力の取り組みを知る。 ②国際協力の現場が、どのような課題を抱えているのかを理解する。 ③わたしたちの身の回りの出来事に対して、国際協力の視点から考えることができる。</p>
授業の方法	視聴覚資料も用いながら、主に講義形式で進める予定です。

成績評価の方法	平常点(授業・グループワークおよびディスカッションへの積極的な参加姿勢20%、リアクション・ペーパー30%) 50% 定期試験 50%
教科書・テキスト	とくに指定しません。適宜、レジュメや資料を配布します。
参考書	野田直人. 2016. 『開発フィールドワーカー 途上国の役に立つ自分になる(国際協力の教科書シリーズ1)』(有)人の森. 清水 貴夫・亀井 伸孝(編). 2017. 子どもたちの生きるアフリカ―伝統と開発がせめぎあう大地で. 昭和堂. チェンバース, ロバート(野田直人・白鳥清志=監訳). 2000. 『参加型開発と国際協力 変わるのはわたしたち』明石書店. その他、受講生の興味関心に沿って授業中に適宜紹介します。
授業時間外の学修について(事前・事後学習について)	紹介する文献や配布資料などを参考にしたり、関連するニュースにも目を向けたりするなどして、常に問題を身近なものとして捉えるようにしてください。
履修上の留意事項	視聴覚資料も用いながら、主に講義形式で進める予定です。適宜、個々の考えを受講者同士で共有したり、グループ・ディスカッションを行ったりすることがあります。授業には積極的な姿勢で参加してもらうことを望みます。
オフィスアワー	何か質問等があれば下記のメールアドレスに連絡してください。その際、氏名・学籍番号等を忘れず明記してください。
実務経験	とくになし
その他	とくになし